

教科名	国語	学年	第2学年	教科担当者：坂本 知世
-----	----	----	------	-------------

《学習目標》

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。 (1) さまざまな種類の情報の内容を素早く理解し、目的や場面に応じて表現する力をつける。 (2) 様々な手段を用いて情報を得て、自分の考えをまとめ、表現する力を身に付ける。 (3) 広く考えるための題材を得る方法を習得し、応用する力を身につける。
--

《年間授業実施計画》

月	単元名・教材名等	学習内容・項目等	学習ポイント・その他
4	学習のオリエンテーション ○虹の足	・授業の受け方、評価の仕方、 ルールの確認等	・授業の受け方、評価の仕方、ル ールの確認等
5	○タオル ○説明文の読み取り方	・詩の表現技法、鑑賞 ・言葉の意味や、表現の特徴 ・登場人物の設定の仕方や言動 の意味	・詩の読み取り方 ・説明的文章の構成、展開の仕方 ・硬筆展
6	○硬筆 ○メディアと表現	・文章全体と部分との関係、例 示の効果、文章と図表の関係	・情報について理解を深める。 ・文化祭発表に向けて・話し方
7	○文法（活用のない自立語） ○夏の葬列 ○ビブリオバトル	・横書きの特徴、注意点 ・名詞、副詞、連体詞、接続詞、 感動詞についての理解。	・文法問題演習、今までの復習 ・登場人物の心情と比喻表現につ いての理解
8	○古典の世界 平家物語・枕草子・徒然草・方 丈記	・登場人物の言動の意味と内容 理解	・冒頭文暗唱 ・文化祭発表に向けて
9	○漢字の成り立ち、漢字の多様 性	・相手の興味を引く話し方 ・歴史的仮名遣い、時代背景等	・効果的な話し方やわかりやすい 紹介の仕方
10	○ガイアの知性 ○論語～孔子の言葉	・漢字の成り立ち、漢字の多義 性についての理解。	・古典に読み慣れること。 ・文章の構成の理解
11	○文法（活用のある自立語） ○近代文学の世界	・根拠の明確化、説明や具体例 の効果 ・動詞、形容詞、形容動詞につ いての理解	・時を超えて残っている言葉 ・用言の活用表が書けること。 ・近代文学のおもしろさ
12	○書き初め ○学ぶ力	・文末表現や接続表現に着目し て、筆者の主張の読解 ・文章に表れているものの見方 や考え方、知識や体験との関 連付け	・文学的文章と説明的文章の違い ・書き初め展に向けて作品の仕上 げ
1	○類義語・対義語・多義語・同 音語	・文章に表れているものの見方 や考え方、知識や体験との関 連付け	・見分けが難しい単語の問題
2	○走れメロス ○文法（付属語）	・近代文学のおもしろさ ・助詞と助動詞について理解す る。	
3	○1年間の国語の学習を振り返 ろう	・今までの学習事項の復習	・今年度の学習事項を振り返り、 来年度に向けて押さえておくこ との確認。

《評価の観点および具体的な評価方法》

観点1「知識・技能」 観点2「思考・判断・表現」 観点3「主体的に学習に取り組む態度」

評価の観点	具体的な評価方法
観点1	・ 漢字や語句、言葉の知識を増やし、豊かな言語生活を通して、豊かな感性を養う。 評価方法：言語の知識・理解・文法・漢字・書写
観点2	・ 自分の考えを正しく伝え、相手の考えを正しく受け取る言葉の力をつける。 ・ 必要な情報をもとに自分の考えをまとめて表現することができる。 評価方法：ノート、ワークシート、話し合い活動、スピーチ、感想文、読解問題、作文など
観点3	・ 国語に対して興味関心を持ち、進んで学習に取り組んでいる。 評価方法：日々の授業メモ、発言、提出物、活動の様子、読書記録など

《教科の約束事》

- ① 授業では積極的に挙手をし、意欲的に授業に取り組みましょう。
- ② 授業では、チャイムが鳴る前に準備を終えて着席しましょう。
- ③ 他の人にしっかりと伝わる話し方をしましょう。（他の人に届く声で、簡潔に）
- ④ 他の人の発言はしっかり聞きましょう。（誰かが話をしようとしたら注目して聞く。）
- ⑤ 授業プリントワーク、ノート等の提出物は決められた日に提出しましょう。

【持ち物】

- ・ 教科書 ・ ファイル ・ 国語便覧 ・ 文法ワーク ・ 漢字ワーク ・ 筆記用具
- ・ タブレット

《指示があったときに持ってくるもの》

- ・ 書き初めセット ・ 硬筆セット ・ 書写の教科書等

※教科担当の指示をよく聞いてください。